

シャイン・ウーマン主催

「花を踊ってみよう！ダンカンダンス」

サロン公演とワークショップ

「恥ずかしくなく踊れた」「自分を解放できた」「みんなと一緒に自分を踊るって楽しい！」と体験した人達から感想が寄せられるダンカンダンス。

このダンカンダンスの踊る喜びに触れていただくためのサロン公演とワークショップを企画しました。

運動が苦手、音楽が苦手、ダンスが苦手と感じていても大丈夫。

踊ることは生きること、そして祈りにも通じます。

その鍵は「ありのままの自分を踊る」ことにあります。

短い時間ですが、ダンカンダンスのエッセンスをお伝えすることができたら嬉しいです。

この機会に是非、講師 佐藤道代、ダンカンダンサー達と一緒に、楽しさを味わって見ませんか？

日時： 2024年8月30日（金）10:30a.m.-12:00noon.

場所： 港区男女平等参画センターリーブラ2階学習室（JR 田町駅徒歩7分）

内容： ピアニスト平澤諭先生の演奏で、自由が丘ダンサーが、シューベルト即興曲に「桜」、南行徳ダンサーがブラームス間奏曲に「新バラの花びら」の創作過程をお届けします。その後、ご参加者と共に、「花」を踊るワークショップをします。是非いらして下さい！

参加費：1000円（お茶菓子付き）

対象： 大人の女性

◆ご予約お問合せ：イサドラ・ダンカン国際学校日本

email：michiyodance@icloud.com

TEL：090-4410-4646

イサドラ・ダンカン ガラスの仮面 で知った方も多いのでは？ 彼女は、「モダンダンスの母」と称され、20世紀初頭に西欧社会を一斉風靡した舞踊家で、
「はだしのダンカン」とも呼ばれていました。



持ち物：動きやすい服装

◆ 講師

佐藤 Vagins 道代 イサドラ・ダンカン国際学校日本大使、ニューヨーク大学大学院舞踊教育学科修士

20代は米国、30代は日本で踊り、40代で母、50代で中高英語教員免許を取り、NY イサドラ・ダンカン国際学校、メアリー・アンソニー、エリック・ホーキンスの下で学んだ手法を、自由に踊る身体作りに伝える。身体と心をつなぐダンスを通じた出会いと気づきに今日も感謝。

アシスタント：イサドラ・ダンカン国際学校日本ダンサー